

令和6年度地域と学校の連携・協働体制構築事業目標及び達成状況と評価について

課題の類型	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現状 値の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
②学校と地域の課題	中学生になると部活動・学業等で多忙となり地域の活動に参加する機会が減少する。また、地域も高齢化が進み担い手不足の現状がある。	年度内を通した町の行事(公共性の高いもの)を一覧にし、学校を通じて配布することで、中学生ボランティアを広く募集し、参加をはかる	参加者も予想以上に多く、地域にとってもよい効果があった。令和6年度はそれを拡大し、地域←中学校、小学校←中学校→高校に拡大していく	地域活動に参画することで中学生と地域の繋がりを深め、郷土を愛する心を育成する。	高校生になっても、地域とのつながりを大切にしたいと考える生徒が増える	0	人	5	2	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる 高校生のボランティア参加者は目標値には届かなかったが、中学生の参加者は延べ400人を超え、学校評価アンケートにおいても地域愛への生徒の評価は1回目79→2回目85%へと増加したため、一定の成果があったと考える。また、来年度は参加型のボランティアではなく、自主企画運営型のボランティアも始める為、生徒の積極性も高まると考えられる
いじめや不登校など生徒指導上の課題への対応	家庭の複雑化や中1ギャップ等もあり、自分の学級に思うように登校できない生徒の居場所の確保等	支援員が日替わりでサポート体制を整え、相談室にて見守りサポートを行う。	昨年に引き続きサポート体制を整え、生徒と向き合い心の変容を感じ、一日でも多く学級に戻るようサポートしていく。	日々のサポートにより、支援員との関係性を築き、学校生活がよりよいものとなり、学級・学校での時間を増やしたいと感じれるようになる。	学校生活で困ったことがあっても、相談する相手がいると感じる生徒が増加する	0	人	3	3	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた 今年度ステップアップルームが設置したため、前年度のように毎日支援を行うわけでは無くなったが、ステップアップルームの補助支援にも参加し、子育てカフェや不登校児への登校支援など年度当初は予定していなかった多彩な支援が行えた。来年度はこれらも拡充させ、カフェ開催を平日・休日ともに開催し、保護者等の多様なニーズに応えていく必要がある